

第2回ワークショップ

日時：2016年6月22日（金）18:30～20:30

会場：利府町コミュニティセンター小会議室

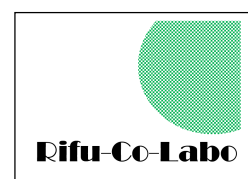
参加者：40名（別紙のとおり）

進行：櫻井 ファシリテーター：桃生 アドバイザー：佐々木



【プログラム】

- 1 利府町あいさつ
- 2 前回のふりかえり（WS全般、建物関連）
- 3 アイディア出しワークショップ
- 4 アドバイザー講評
- 5 次回日程の決定



「（仮称）コラボスタジオの機能について」

1 利府町あいさつ（鎌田）

- ・先日のワークショップの様子が河北新報に掲載された。
- ・今回設置する施設は、起業・創業が主な目的となることを念頭に置いてアイディアをいただきたい



2 前回のふりかえり

【WS全般】

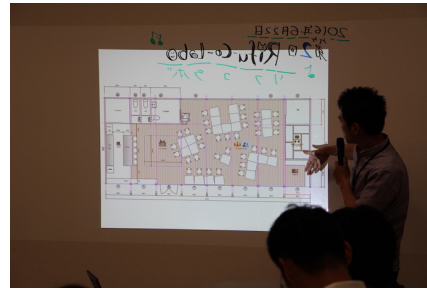
- ・なぜコラボスタジオをつくるのか？⇒利府町の課題解決のための施設
- ・実際にどんなところになりたいか？⇒4グループに分かれ、各5つのアイディアを発表
- ・風見先生からの講評
駅前という利点を活かす、自然を活かす、利府の人や資源を使う

【建物関連】

前回の意見をふりかえりながら、現時点でのイメージを共有した。

- ・壁を取り払い、ガラス張りにする。
- ・ミーティングルームとしていたスペースをとり、広くする。その空間をどう使うか？

- ・フレキシブル性を踏まえ、こあがりのスペースは移動可能にすることを考えている
 - ・情報発信を踏まえ、入口入ってすぐのトイレ壁を黒板などにするとも考えている
 - ・キッチン中央に置くと利用しにくくなるため、端に置く予定である
 - ・真ん中は机椅子を並べているが、寄せればトークイベントなども開催できる
 - ・今回は建物の内部について話をしたが、外観については話が出なかったが、オシャレ感という意見もあったので、こんな外観で良いか？
- ⇒三協フロンティアのユニットハウスです承（工事現場的なプレハブは×）



3 アイディア出しワークショップ

- ① 2グループに分かれ自己紹介
- ② 各グループで「あったらいい機能」についてアイディア出し
- ③ 全体共有としてアイディアを3つに絞り各グループで発表

【Aグループ】

ポイント①「マッチングボード」

- ・起業支援、新しい取り組みを始めようとする人をつなげる
- ・やりたいこと、ほしい人材、イベント情報の告知などを紹介
- ・ボードを通してつながることができる
- ・相席などで交流が生まれるとよいが、人と人をつなげる

ポイント②「テイクアウトのカウンタースペースを作る」

- ・駅利用者などに気軽に利用してもらえるようにする
- ・朝、通勤で駅を利用する方向けにコーヒーとサンドイッチでモーニングセットを提供
- ・クッキーやリーフパイ（リーフちゃんをモチーフに）を販売

※カフェで施設が自走できるようにする

ポイント③「記念写真撮影場所を作り、割高で販売」

- ・コンサートやイベントに来た方は利府駅の写真を撮って帰っている
- ・リーフちゃんやナシルバーも登場して一緒に写真を撮れる
- ・前のマンションにプロジェクトマッピングをする



【Bグループ】

ポイント①「利府はここから：情報の館」

- ・利府の全体的な情報、利府の現在、未来の情報を提示。

ポイント②「利府からはじまる：時間割性プロフェッショナル」

- ・実際に起業創業している方を呼んで気軽に話を聞く。
- ・興味のある分野を見せる。
- ・実務的な起業の手続きも学べる。
- ・イベントを開催、その手伝いを子どもがする。

ポイント③「利府は特別：利府パスポート」

- ・町民はメニューを値引きする。（地元割引）



【Cグループ】

ポイント①「コンシェルジュについて」

- ・起業をする人が何をしたいか分かっていないのでは？
- ・起業のヒントをもらえる場所にする（自分に何ができるか分かる場所）
- ・オールマイティな人は逆にいない。
- ・コンシェルジュを育てていく場…若い人が良い。

ポイント②「フラットになる」

- ・収益を出すためにはイベントをする。

ポイント③「お店の収益を確保するために」

- ・利府駅の利用者は 3000 人…外にもサービスができるような什器があると良い。
- ・テラスに屋根があるとよい。
- ・アイキャッチも必要。



【Dグループ】

ポイント①「グランディのイベントの日に駅前を盛り上げる」

- ・ 歓迎の看板を作る。
- ・ ライブの日にはアーティストのBGMを流す。

ポイント②ショップスペースに直売所を」

- ・ 近くにある直売所への動線にもなる。

ポイント③「気軽に飲食できる自販機」

- ・ カフェスペースで買わなくても、ふらっと立ち寄って自販機で飲み物を買って休んでいく、という形でもいいのでは。自販機の中に、カットした梨など利府の食材を入れる。



4 講評（佐々木先生）

今回のワークショップにおける新規性は二つある。まずは、住民の意見を取り入れていること。若い人や地域を考えている人が入って一から作りあげていく本当の意味での参加は、東北でも初めての試みだと思われる。また、収益性を考えていることが二つ目の新しい取り組みである。町民が受益者になるだけではない。自分たちで動かしていくという視点は全国に先駆けるものである。



5 次回日程の決定

月2回、第1、第3水曜日に固定して開催することが決まった。

第3回 平成28年7月6日(水) 18:30~20:30

第4回 平成28年7月20日(水) 18:30~20:30

会場：利府町コミュニティセンター

6. アンケート結果（回答数：18名）

●年代について

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
4名	6名	5名	2名	2名	0名

●性別について

男性	女性
8名	10名

●お住いの地域について

利府町内	町外
5名	10名

●職業について

会社員	自営業	フリーランス	NPO	専業主婦	パート アルバイト	学生	公務員	その他
3名	0名	0名	1名	2名	0名	7名	3名	2名

●情報入手方法について

利府町HP	Facebook	チラシ	友人・知人	利府町職員	その他
2名	0名	0名	4名	8名	6名

●満足度について

大変満足	満足	普通	不満	大変不満
9名	7名	1名	0名	0名

●参加回数について

0回	1回
5名	13名

●自由記述について

- ・このWSのメンバーで何かしらのプロジェクトをやってみたい！リフコラボスタジオができてから。（上映会の運営、講座運営とか？）スタジオでどんなことができるのかを示す具体事例になると思う。
- ・少しでも自分の意見が反映されるような良い意見を出していきたい。
- ・みんなで出し合った沢山の意見を実現するプロセスを学びたい
- ・もっとざんしんなアイデアを出せるように頑張りたいです。
- ・利府の名物を収集すること！！カフェで出せるものの検討
- ・誰に来て欲しい施設かを、もっとディスカッションすべきかと感じます。
- ・企業を支援するのであれば「ほわっと」した方も集まり、やってみたい事を後押しするキッカケを創出するべきかと。仕事の体験が出来る場にするなど。
- ・もっと利府のことを知ってから参加したいです。（利府の遊び場、道路などのアクセス）
- ・情報をリフコラボの場でたくさん出すだけでなく、ある程度まとめることも必要なのではないかと思います。
- ・収益についてもう少し具体的に決めつけなければいけないのかなと感じました。案を煮詰めていきたいです。
- ・スタジオにおくものをみんなで手づくり！キャラクター着ぐるみ化→オープンの時にデビューさせたい。
- ・町民でなくとも、使いやすい施設になれば。
- ・利府町のPR、情報発信 リーフちゃん（着ぐるみ）のキャラクター化 利府梨のアピール、梨の商品化